

2017年4月26日

千葉県知事
森田健作様

生活協同組合コープみらい
理事 千葉県本部長 鳥羽 治明

2016年度 ちばSSKプロジェクト等に関する取り組み報告書

1. 報告

生活協同組合コープみらいの2016年度「ちばSSKプロジェクトに関する取り組みの年間計画」に基づく、ちばSSKプロジェクトに関する活動状況を報告します。

2. 2016年度計画のまとめ

生活協同組合コープみらいは、商品の宅配など日々の業務と組合員の活動を通して、高齢者の見守りをはじめとする「ちばSSKプロジェクト」の取り組みに協力しました。

I 高齢者の見守り

1. 千葉県内の全市町村と高齢者見守りネットワーク事業活動を推進します。日常業務の中で異変を発見した際に、市町村や警察等へ通報します。

- 2016年度に宅配事業と店舗事業において、業務中に異変などを発見し通報した件数は2017年3月20時点で31件（宅配24件、店舗7件）となっています。

【通報などの事例】

- ・ 夕食宅配の配達の際、2/10にお届けした2食が残っていたため、声がけしたが応答が無く、電話にも出ないため（第2連絡先登録無し）地域福祉課に連絡した。
- ・ お客様が店舗内イートインコーナーで体調が悪そうな様子をパート職員が発見し、椅子に横になっていただいていたところ、意識を無くした。救急車を要請し救急搬送された。

II 「ちばSSKプロジェクト」

1. 「ちばSSKプロジェクト」の普及啓発に努めます。

- (1) 高齢者見守り事例などを基にした普及啓発
- (2) 組合員向け広報紙、ホームページへの掲載
- (3) イベント開催・参加におけるパネル展示等

- 千葉県内の組合員向けに配布している情報紙『ちばインフォメーション(約37万部発行)』4/4号に「ちばSSKプロジェクト」の記事を掲載し、「支えアクション」と「孤立化しないための習慣」について紹介しました。

- 5月25日開催の「平成28年度消費者フォーラム in 千葉」の中で、コープみらいの高齢者支援の取り組みを紹介するパネルを展示しました。

III 認知症対策

1. 認知症サポーターの養成に努めます。

- (1) 正規職員採用者（新卒と中途）にサポーター養成の研修を実施します。
- (2) 組合員活動の中で開催される「認知症サポーター養成講座」の広報や運営に協力します。
- コープみらいでは、2009 年度より採用時研修の中で認知症サポーター養成講座を実施しています。又各事業所の責任者が、認知症サポーター養成の講習ができるように講座を受け各事業所での講習を行なっています。認知症に対する知識と理解を持って、地域における見守り活動を進めています（2016 年度実績 80 名）。
- コープみらい 2 区ブロック委員会が印西市に講師を要請し、認知症サポーター養成講座を実施しました。

IV 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

- 1. 地域との関わりを持つためのきっかけづくりや活躍の場につなげ地域を豊にすることを目的にコープみらいカレッジを今年も開校します。
- 50 歳以上の組合員を対象としたコープみらいカレッジ千葉校を、千葉県や産直取引先にご協力いただき「食を通じてもっと千葉を知ろう」をテーマにカリキュラムを組み立て、12 名の受講生を迎えて実施しました。
- 2. 市町村の中で開催されている高齢者福祉に関する協議体に参加し、ともに進められることを進めていきます。
- 県内 14 市町の高齢者福祉に関する会議に参加しました。
 - ・新地域支援事業に関する会議（千葉市、市川市、白井市、銚子市、館山市、松戸市、柏市、流山市）
 - ・高齢者見守り等に関する会議（千葉市、市川市、習志野市、白井市、富里市、館山市、君津市、一宮町、富津市、南房総市、松戸市）

その他

- 移動店舗の停留所を 2 ヲ所増設し、全 65 ヲ所を週 1 回巡回し、高齢者の買物を支援しています。
- 県内各地約 90 箇所毎月開催している「みらいひろば」は、組合員と地域の方が自由に参加できるコミュニティです。ここにはご高齢の方も多数参加し、高齢者の仲間づくりの場、居場所としての役割を果たしています。

【みらいひろばの事例】

みらいひろば三咲では 10 月の開催で認知症サポーター養成講座を実施し、認知症について正しく理解して受講した目印のオレンジリングをいただきました。

- 組合員と地域の方の自主的な活動を応援する「地域クラブ」の仕組みを使って、多くの高齢者の方が健康や食、福祉などをテーマに、生き生きと活動しています。また、高齢者のくらしをサポートする活動も活発に行なわれています。

【地域クラブの事例】

独居老人や介護施設に入居している方々に、毎年 12 月にプレゼントを贈る活動に取り組む地域クラブ「ほいっぽさんね」では、今年はクラフトバンドで作ったバッグにお菓子やメッセージを入れて送りました。

- 「千葉市ごみ出し支援事業補助金」チラシを、千葉市内地域クラブに配布してお知らせしています。
- コープみらい津田沼デイサービスで、地域包括支援センターに協力して高齢者の仲間づく

り、居場所の提供を進めました。

- コープ花見川店サービスカウンター横で、千葉市消費生活センターが2ヶ月に1回相談窓口を設置し、消費者センターの紹介および簡単な相談を受け付けました。

V 高齢者の安全、安心

1. 振り込め詐欺やひったくり被害対策の普及啓発につとめます。

(1) 組合員向け配付物への掲載

(2) 市町村との消費生活課と連携して、消費者力向上の啓発に協力します。

- コープみらい3区ブロック委員会で、成田市に講師要請し「電話 de 詐欺」をテーマに講習会を実施しました。
- 2月26日に開催した「コープみらいフェスタきやっせ物産展2017」(幕張メッセ、約3万人が来場)に、千葉県生活安全課消費者安全推進室及び千葉市消費生活センターにご出展いただき、振り込め詐欺など被害防止のための普及啓発を協力して行いました。
- 千葉市の振り込め詐欺防止キャンペーンへ参加し、葭川公園広場で振り込め詐欺防止啓発用のチラシ(ポケットティッシュ)等の配布を行ないました。
- ちばし消費者応援団への登録から消費者被害の情報の提供を行ないました。
- 「みらいひろば」に向けた広報媒体で、高齢者の運転に関する啓発を行ないました。
- 各自治体の消費生活展(習志野市、佐倉市、成田市、四街道市、君津市、市原市、松戸市)、船橋市生き生き展に出展しました。

3. 添付資料

- (1) 情報紙『ちばインフォメーション』4/4号
- (2) 『コープみらいの未来 社会的責任報告2016』
*誰もが生き生き暮らすために(19P・20P抜粋)

以上